

令和元年 第3回  
京田辺市議会定例会

一般質問（質問項目・要旨）

傍聴用

京田辺市議会

## 9月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
9月9日 (月)	1	<small>おかじまかずあき</small> <b>岡 嶋 一 晃</b> (自 民 一 新 会)	1
	2	<small>たはらのぶゆき</small> <b>田 原 延 行</b> (自 民 一 新 会)	3
	3	<small>ますとみりつこ</small> <b>増 富 理 津 子</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	5
	4	<small>あおきこうじろう</small> <b>青 木 綱 次 郎</b> (日本共産党京田辺市議会議員団)	7
	5	<small>かわだみほ</small> <b>河 田 美 穂</b> (公 明 党)	9
9月10日 (火)	6	<small>きくかわかずしげ</small> <b>菊 川 和 滋</b> (N E X T京田辺)	10
	7	<small>よしたかゆかこ</small> <b>吉 高 裕 佳 子</b> (無 会 派)	12
	8	<small>むこうがわひろし</small> <b>向 川 弘</b> (公 明 党)	14
	9	<small>つぎたのりこ</small> <b>次 田 典 子</b> (無 会 派)	15

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
9月12日 (木)	10	かたおかつとむ 片 岡 勉 (無 会 派)	16
	11	ながたかずや 長 田 和 也 (NEXT京田辺)	18
	12	おかもとりょういち 岡 本 亮 一 (日本共産党京田辺市議会議員団)	19
	13	なんぶとしこ 南 部 登 志 子 (無 会 派)	21

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

## 1 学校の環境整備と中学校給食について

- (1) 小中学校のトイレの洋便器化について、平成28年の文科省の調査で全国平均が43.3%であり、本市は43.1%と全国平均レベルにある。しかし、学校間に格差があることは否めなく、帰宅まで我慢する子どももいると聞く。今後の方針と具体的な対策を問う。
- (2) 昨年、中学校給食に関する調査費の予算が可決されて議会での質問が相次ぐ中、センター方式が良いとされているが、早期に実現するためには、センター方式に限らずベストな推進計画を出すべきだと考えるが、今後の具体的な方針と進捗状況を問う。

## 2 防災・減災体制の充実強化について

- (1) 自然災害発生時に生命を守るためには、自助・共助が必要不可欠であるが、発生の数日後からは公助の役割が重要になってくる。具体的な対策について問う。
- (2) 避難所運営訓練は、非常に重要でかつ有意義な訓練だと認識しているが、区や自治会などの役員が数年で交代するところが多い中、後継者への引き継ぎや訓練の継続をどのように行っていくかの方策についてどのように考えているか。
- (3) 災害時の避難所運営が、どうしても男性中心となる場合が多いと考える。避難された子ども達や女性の方々は、女性にしか伝えられない困り事や相談事があり、そのためには、各避難所には女性リーダーが必要だと考えるが市の考えを問う。
- (4) 避難勧告や避難指示が発表されても、避難した人の全国平均が5%で、西日本豪雨でも16%にとどまっている。避難情報を発表した場合、市民を安全に避難させるための伝達方法や取り組みを問う。また、市の地

域版防災マップ水害編や避難行動マニュアルの中で、緊急一時避難場所  
が表記されている物とない物があるが、その真意を問う。

- (5) 府営土地改良事業の内、完成後約60年が過ぎ老朽化が進む田辺排水  
機場の全面改修工事が決定され、事業費の13%を市が負担する。

市は、この事業を防災対策の好機と捉え、全面的に推進する立場にあ  
ると考えるが、西浜樋門を含めた今後の治水対策についての考えと意気  
込みを問う。

**1 大住仲ノ谷及び平谷地域の安全で安心な街づくりについて**

- (1) 当地付近の桃園小学校通学路は、道幅 4 m 程度で溝蓋もない区間があり通学児童・生徒を始め歩行者は、危険にさらされながら通行している。安全な歩行空間の確保と注意喚起のため、道路標示等が重要と考えるが市の考えを問う。
- (2) 当地住宅内は、狭隘道路や雨水排水の不完全により住環境は良好とは言えない。そのような中で、薪狼谷地区や薪西山地区で住宅開発が進行し、車の通行や雨水流出が益々増加している。大住仲ノ谷地区及び平谷地区の車や歩行者の安全確保及び道路側溝整備が必要と考えるが市の見解を問う。

**2 山手幹線渋滞緩和策について**

- (1) 山手幹線が日常的に渋滞することによって、準幹線道路や生活道路に渋滞を避ける車が流入し、日常の生活が脅かされている。渋滞の要因の一つとして、竜王谷橋交差点で二車線から一車線に車線減少が考えられる。そのために計画決定されたのが都市計画道路池之端丸山線である。事業化に向け検討すべきと考えるが、市の方針を問う。
- (2) 山手幹線と交差する第二京阪道路側道の信号が、三現示であり歩行者専用に設定されているが、人の往来は少ない。このことが山手幹線の車の流れを悪くして渋滞原因の一つにもなっている。見直しを図るべきと考えるが、市の考えを問う。

**3 大住工業専用地域拡大事業の進捗と防賀川の改修について**

- (1) 大住工業専用地域拡大事業の進捗状況  
工業専用地域としての土地利用の活性化を図り、地元雇用の促進と地

域経済の発展並びに税収確保のためには、地元地権者による準備組合に積極的な支援を行い、早期に事業化されるべきと考えるが進捗状況を問う。

(2) 防賀川の治水対策

防賀川の改修の見通しを問う。

**4 大住駅の交通混雑緩和のための駅前開発と駅構内の改善について**

(1) 通勤時間帯の送迎車が左右に停車するため、通行する車に視界を塞がれ横断歩道を渡るのに危険な状況である。駅前のロータリー化について問う。

(2) 身体に障がいを持つ方、妊婦さん、高齢者、乳幼児連れの人などの目線に立った駅の充実整備が重要と考えるが、市の考えを問う。

**5 高齢者運転免許証返納の状況について**

(1) 周知の方法、窓口を訪れる高齢者運転免許証自主返納支援助成金交付申請者の実態を問う。

(2) 本市は運転経歴証明書の交付手数料分1,100円を助成しているが、バス利用券をプラスオンし公共交通にシフトするなど、市の交通政策と密接に連携した取り組みが重要と考えるが、市の考えを問う。

**1 幼保「無償化」の実施にあたって**

- (1) 幼保無償化が10月から実施予定だが、京田辺市の幼児教育・保育施策にどのような影響が考えられるのか問う。
- (2) 保育所の給食費負担に関して問う。

**2 軽・中等度難聴者へ補聴器購入の助成を**

- (1) 18歳以上の難聴者について京田辺市での実態について問う。
- (2) 高齢者の難聴に早く対応することは、認知症やうつ病などへの進行を防ぐという意味で、医療費の削減にもつながるといわれている。市の考えを問う。
- (3) 高齢者の社会参加を進めるうえでも、市は特別な公的支援が必要と考えないのか問う。

**3 子どもの権利条約に基づいた施策の充実を**

- (1) 子どもの権利条約ができて30年。京田辺市として市民への周知、広報も含み取り組んできた施策とその成果、今後の取り組みについて問う。
- (2) 子どもの権利条約をもっと学校現場で活かすべきではないのか、取り組みの現状を問う。
- (3) 子どもの貧困、いじめや児童虐待など子どもをとりまく環境が深刻化している中で、京田辺市でも「子どもの権利条約」に基づいた「子ども憲章」や「子どもの権利条例」を子どもや市民とともにつくること、今求められていると考えるが市長、教育長の考えを問う。

**4 児童虐待防止対策について**



「救えたはず」という後悔を繰り返さないためにも、従来の対応の延長ではない踏み込んだ強化策が必要であり、自治体として早急な取り組みが求められている。

- (1) 京田辺市での児童虐待の実態について問う。
- (2) 家庭児童相談室の体制について問う。

**1 都市農業の振興について**

2015年に都市農業振興基本法が制定され、都市農業の定義が明確になり、その位置付けも従来から大きく変えられた。同法を受けた本市の取り組みについて問う。

- (1) 本市農業の現状（市街化調整区域、市街化区域、生産緑地別の、耕作面積、農家数、主な農作物の生産高など）について明らかにされたい。
- (2) 本市全域の農業を都市農業と位置付け、本市における「都市農業振興基本計画（地方計画）」の策定を求める。
- (3) 国は同法を踏まえ「生産緑地」の保全のために貸借を可能とする制度を導入した。本市でも「市民農園」としての活用などの具体策を講じるべき。

**2 経済的な子育て支援の拡充について**

本年に市が実施した「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」では、重い教育費負担への不安や、経済的な支援の拡充を求める声が多く出された。それらを踏まえて、以下の点を問う。

- (1) 子育て世代の生活実態についての市の基本的な認識と、経済的支援の拡充についての市の考えを問う。
- (2) 経済的な子育て支援の拡充として、以下の施策の実施を求める。
  - ア 子どもの医療費助成の対象を高校生まで拡充を。
  - イ 義務教育に係る教育費負担の軽減を。特に学校給食の無償化を。
  - ウ 国保加入世帯における子どもの「均等割」分を無料に。

**3 中学校給食実施について**

- (1) 中学校における給食の意義と役割について、とりわけ子どもたちの成

長と教育にとって、どのように考えているのか、市長の見解を明らかにされたい。

(2) 庁内検討委員会の検討結果について、明らかにされたい。

(3) 中学校給食実施に向けた具体的なスケジュールについて、明らかにされたい。

### 1 防災・減災対策について

- (1) 避難所運営訓練のメニューの充実を。  
(床で寝てみる訓練・ペットをつれての訓練など)
- (2) 非常用持ち出し袋を持ち寄り、防災について話し合う訓練を取り入れては。
- (3) 子どもと保護者を対象とした避難所運営訓練をすべき。
- (4) 自らの避難所までの道を日常的に散歩コースにして安全などを考える「防災散歩」を推奨する取り組みをしては。

### 2 安全・安心対策について

- (1) 田畑の近くで防犯上危険な場所へ農作物に影響が少ないLEDを設置すべき。
- (2) 小学生に配布している児童安全ホイッスルの改善をすべき。  
(防犯ブザーを小中学生に配布するなど)

### 3 健康対策について

- (1) 糖尿病の重症化予防のための対策の充実を。
- (2) 高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種の接種率向上対策の充実を。

**1 安全・安心なまちをめざして**

- (1) 田辺中央北地区新市街地整備と内水対策について。
- ア 開発のスケジュールについて。
  - イ 内水対策の現状と整合性について。
  - ウ 新西浜樋門への対応について。
  - エ 複合施設の機能について。
- (2) 防災広場の取り組み状況について。
- ア 防災広場の進捗状況について。
  - イ 防災広場における機能について（給食センターとの併合施設）。

**2 さらに子育て支援について**

- 幼児教育・保育の無償化による今後の課題と取り組み状況について。
- (1) 幼保連携型認定こども園のニーズと本市の検討課題は。
  - (2) 今後の出生率などを勘案し、どのような配置をめざすのか。
  - (3) 幼稚園の耐震化計画における設備改修費等の関係と統廃合について。

**3 北部地域における人口増加に対応した市民サービスの向上について**

- 現行の北部地域の市民サービスについての認識。
- (1) 今後も増加していく、J R松井山手駅周辺における支所機能の必要性。
  - (2) 移動図書館による、子どもたちへのサービスの在り方の認識。
  - (3) 高齢化を踏まえた、コミュニケーションの場づくり。

**4 組織の在り方と職員の働き方について**

- (1) 市長重点項目で「安全安心なまち」「子育て支援」を掲げている中で、

安心まちづくり室及び輝くこども未来室における業務量に対する職員配置や組織上の位置づけについて。

ア 重点施策に対する増員配置の考えは。

イ 2つの室を部に引上げすることにより、体制強化してはどうか。

(2) 市民ニーズを汲み上げるための、市政協力員制度に代わる新たな方策。  
市政協力員の廃止に伴い今後どのように市民ニーズの汲み上げを実施していくのか。

(3) 職員の人材育成の在り方について。

民間企業への派遣研修における評価と課題について。

## 1 生涯学習について

- (1) 次世代に及ぶ環境的・経済的・社会的に持続可能な社会の実現のためには生涯学習の充実が必要と考える。京田辺市では、生涯学習の重要性をどのように考えているか、見解を問う。
- (2) 本市では、「心豊かな人を育てるまちづくり」を生涯学習の目標において平成8年に策定された「京田辺市生涯学習推進基本計画」に基づき生涯学習の基盤作りを推進しているが、その計画は平成18年から27年までの計画となっている。その成果と課題などの見直しと新たな策定について、市の見解を問う。
- (3) 学校教育と社会教育の連携の強化のため、「京田辺市学社連携推進委員会」が設置されその下に各学校を事務局とする「ふるさと体験学習委員会」がある。地域の方々の協力でそれぞれの地域の特性を生かした事業や世代間交流が行われている。令和2年度から「ふるさと体験学習」が「地域伝統的行事等体験学習事業」と名称が変更されるが、なぜ変更するのか、それによって何が変わるのか。

## 2 放課後子ども総合プランについて

- (1) 放課後の子どもの居場所づくりと地域の方や世代間交流を充実させるため、三山木小学校で去年3月から4月に毎日実施した「キッズプレイス事業」の成果と課題は。
- (2) キッズプレイス事業を、全学校での実施を目標としているが、学童保育が無い普賢寺小学校での実施を優先的に行う必要があると考えるがどうか。
- (3) 厚生労働省と文部科学省の連携のもと、平成26年7月に「放課後子ども総合プラン」を策定し、当該プランに基づき、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な実施を中心に両事業の計画的な整備が進め

られている。本市において放課後子ども総合プランを実現するためのプランニングについて市の考えを問う。

### **3 香り付き柔軟剤や香水、芳香剤などによる新しい公害、いわゆる香害について**

- (1) 香りブームの影で、化学物質過敏症のため、辛い思いをされている方々がおられる。化学物質過敏症についての市の見解を問う。
- (2) 化学物質過敏症について理解を深めるため、公共施設など人が集まる場所に啓発ポスターやチラシなど、また市のホームページで周知が必要と考えるがどうか。
- (3) 幼稚園、保育所、小中学校などで保護者向けにも化学物質過敏症についての理解と、大人と比較して赤ちゃんや子ども達の方が化学物質の影響を受けることを知らせる必要がある。また、職員間でも共有する必要があると考えるが、市の考えは。

### **4 京田辺市内における除草作業について**

- (1) グリホサートの主成分とする除草剤の使用について市の見解を問う。
- (2) 現在本市では、公共施設や公園・道路・幼稚園・保育所・小中学校・高齢者施設などの除草作業はどのようにしているか。



**1 令和2年4月からの私立高校の授業料実質無償化及び高等教育の授業料減免と給付型奨学金制度等について**

- (1) 制度の詳細は把握できているのか。
- (2) 本市から京都府以外の私立高校へ進学する場合も実質無償化となるのか。
- (3) 中学生に対し早期に詳細説明を実施すべき。

**2 奨学金返還者に対する支援について**

- (1) 奨学金返還者に対して国・府の税金の控除制度はあるのか。
- (2) 本市において奨学金返還者に対し市独自の奨学金返還支援をすべきではないか。

**3 防災施策を強化せよ**

- (1) 本市の各区・自治会における防災組織設置状況はどれだけか。また、未設置の区・自治会における設置計画は。
- (2) 避難所運営訓練の頻度増加と未実施の区・自治会における訓練実施及び訓練参加世帯数増加を推進すべき。
- (3) 防災拠点としての指定避難所等に携帯電話やスマートフォン用電源及び公衆無線LAN (W i - F i) を整備せよ。

### 1 新教育長に問う

- (1) 入学・卒業式等の行事において、児童生徒・教職員・保護者や来賓等に日の丸・君が代の強制を今までどおりしてはならないと考える。教育長の考えは。
- (2) 給食の無償化を実施すべきと考えるが、どのように教育長は考えるか。
- (3) 全国で、夜間中学設立の動きが進んでいる。教育長の認識と今後の具体的対応について。
- (4) 不登校の現状をどのように認識しているのか。
- (5) 平和教育の充実を行なう観点から修学旅行の行き先を変更してはどうか。
- (6) 教育行政の充実を図るために、職員の資質向上が必要と考えるが、教育長はどのように考えるのか。

### 2 市民の安全とサービス向上について

- (1) バス路線の見直しと高齢者へのバス運賃半額補助の実施を早急に実現すべきだ。
- (2) 路線バスにおける車いす乗車を行ないやすくすべきだ。
- (3) 市役所閉庁時の住民登録・戸籍の取り扱いは慎重に行ない、個人情報流出を防ぐべきだ。
- (4) 主要な通りに愛称をつけ、観光客にも分かりやすくすべきだ。

### 3 ひきこもり問題について

- (1) 現状の把握と取り組みについて。
- (2) 担当部署を明確にすべきだ。

**1 河川管理・保全に対する本市や関係機関と連携した取り組み及びそれら  
内水排除に向けた取り組みの強化について**

- (1) 本市所管の河川管理・保全の取り組み状況について
- ア 定期的な河川の巡回点検の頻度について
  - イ 平成30年度における臨時的な河川の巡回点検の実績（総回数と河川名）
  - ウ 臨時的な河川の巡視点検を行うに至る基準について
  - エ 河川の巡視点検を行った結果、緊急的な処置を行わなければならなくなつた場合の対応方法について
  - オ 本市所管河川の改修計画の内容について（河川名とその区間、改修実施時期のめど）
  - カ 本年度、概略設計を行うとした興戸駅付近の排水路の取り組み状況と今後の見通しについて
- (2) 国・府の所管河川の管理・保全に関する連携した取り組みの状況について
- ア 河川の管理・保全に関する情報共有を行うための会議体等の設置状況とその頻度、情報共有の内容
  - イ 本市が考えるまたは要望している、国や府が早期に取り組むべきと考える河川対策。
  - ウ 田辺排水機場改修に併せた関係機関への要望の取り組みについて

**2 防犯灯設置による安全安心の取り組みについて**

本市の市民の安全安心の取り組みについては、駅周辺へ防犯カメラを設置しているところであるが、夜間における安全・安心には防犯灯が今なお有効であり、防犯灯設置の取り組みをもう一段強化いただきたい。

片岡 勉

- (1) 42の区・自治会からの防犯灯設置要望の平成30年度取り付け実績はどのようにになっているか。
- (2) 年度後半に予算残がある場合の措置について（残予算をどのように取り扱っているのか。）
- (3) 平成27年度、リース方式でLED化をされたが、それ以降に新たに取り付けを行った防犯灯の管理はどのように行っているのか。
- (4) 防犯灯を地域負担で取り付けて、その後の電気代やメンテナンスを市で行うような仕組みの導入検討を。

### 1 自治体アプリについて

市民サービス向上に向け、他の自治体でも導入が進んでいる、自治体広報用アプリの導入を急ぐべきと考える。市として、どのように検討しているのか。

### 2 体育館における空調について

- (1) 指定避難所となる小・中学校の体育館への空調設備設置について、今夏の猛暑等、熱中症への対応などを踏まえて、改めて市の見解は。
- (2) 市の行事や運動の場として、また、毎年全国小学生ハンドボール大会が開催され、2年後には開催予定のワールドマスターズゲームズのハンドボール競技会場となる中央体育館には、早急に空調設備の設置が必要と考えるが、市の考えは。

### 3 市内バス路線について

高齢者が自主的に免許返納するという機運が徐々に高まる反面、市内のバス路線減便・値上げ・遅延増加等、市民からの声も多く出されている。

- (1) 現在の市としての取り組み状況について、どのような対応をしているのか。
- (2) 今後の市内各交通事業者への対応等は。

### 1 環境問題及び廃プラスチック対策について

- (1) 日本は、プラスチックごみ削減の数値目標を盛り込んだ「海洋プラスチック憲章」に署名していない。市長は、国に対し同憲章に署名するよう意見表明すべき。
- (2) 有害廃棄物の国境を越えた移動を規制するバーゼル条約が5月に改定され、汚れたプラごみが規制対象に加えられた。これを受けて環境省は、域外から出る廃プラスチックを、自治体が引き受けて焼却処分する要請の通知を出した。  
一般廃棄物を燃やす自治体の焼却施設で広域の産廃を焼却するものだが、どう対応されるのか。またその見解を問う。
- (3) プラスチックごみ削減は、市民や事業者の協力も必要だが、本市における削減計画や具体的な取り組みについて問う。
- (4) 脱プラスチックを目指し、マイボトル・マイバッグ使用の啓発及び、公共施設に給水器の設置を求める。

### 2 (仮称) 南部住民センター建設について

- (1) 「文化振興計画」では、文化活動の場として南部地域における活動拠点づくりを進めるとともに、「公共施設等総合管理計画」においても、活動拠点を確保するとしている。これまで民間施設の活用も含め幅広く検討されてきたが、なぜ進まないのか。その認識を問う。
- (2) 南部地域におけるコミュニティ及び、文化活動拠点の整備を進めるにあたり、今後、どう具体的に取り組むのか。
- (3) (仮称) 南部住民センター建設庁内検討委員会の設置を求める。

### 3 通学路の安全対策について

岡本 亮一

2017年3月、市道南田辺三山木駅前線が供用開始され通学路となった。児童の安全面に配慮し、ガードレールの設置を求める。

### 1 地域で支える高齢社会

- (1) 高齢者がご自宅で安心して暮らし続けるためには、居宅訪問ヘルパーの存在が必要不可欠である。訪問ヘルパーの処遇を市としても改善し、安定した収入にしなければ、訪問ヘルパーは増えない。また、感情労働とされる介護職のための相談窓口を設けるなどして、より働きやすい環境整備に努めるべき。市の見解を問う。
- (2) 福祉委員制度の活用・拡充を積極的に行ない、高齢者を支える裾野の拡大を図るべきと考えるが、市の認識は。
- (3) 近隣市町で積極的に取り組まれているくらしたすけあい隊などの活動を、本市でも実施していく必要があると考える。市の見解を問う。
- (4) 常に携帯できる安心カードなどの作成を。

### 2 災害に強いまちづくり

- (1) 避難所運営訓練の充実を。
- (2) 中規模マンション等における自主防災組織の必要性を認め、市として支援していく必要があると考えるが、市の見解を問う。
- (3) 障がいの特徴に合わせた避難行動・避難所運営マニュアルの作成が要望されている。市としても積極的に取り組んでほしい。

### 3 駅周辺対策

- (1) 近鉄新田辺駅・JR松井山手駅周辺の送迎渋滞について、市の認識を問うとともに、対策を求める。
- (2) 田辺中央交差点(京都銀行と南都銀行)に右折信号機の設置を求める。
- (3) 市の表玄関となる主要駅の植栽の定期的な管理を求める。



#### **4 A E Dの有効活用に向けて**

- (1) 女性傷病者に対する使用を躊躇われないための、積極的取り組みを。
- (2) A E Dを設置する自治会やマンションに対し、助成金を支給する必要があると考えるが、市の見解を問う。

#### **5 外国人にやさしいまちづくりを**

- (1) 市から送付される文書の英語表記を求める。
- (2) C I R以外にも通訳を置くなどして、相談業務の体制充実を。